



謝辞を述べる川島勝美議員

千葉県町村議会議長会 自治功労表彰受賞

おめでとうございます

5月31日開催された第58回千葉県町村議会議長会定例会において、町議会議員として18年以上及び11年以上在職し、地方自治に功労があったとして、次の方々が表彰されました。

18年以上の
特別自治功労
受賞議員

11年以上の
自治功労
受賞議員



鈴木唯夫議員



八角健一議員



川島勝美議員



鈴木克征議員



野村和好議員



山崎貞一議員



伊藤囀樹議員



嘉瀬清之議員

一般質問



實川 隆 議員

町の舵取りを行うにあたり 町長の方針は？

「すべては町民のために」を モットーに頑張ります

Q 町長の政治姿勢に対する具体的な考えについて
A 「町民と行政一体型の産業振興」「子供達のための横芝光町」「町民参加の町づくり」「敬老の町横芝光」「町財政の健全化」の五本の柱の公約実現に向けて各課で抱えている問題点の把握と各種事業の将来計画や財政負担等を中心にヒアリングを行っており、これらを踏まえながら、一歩づつ着実な町政運営を行ってま

Q 町長の政治姿勢に対する具体的な考えについて
A 「町民と行政一体型の産業振興」「子供達のための横芝光町」「町民参加の町づくり」「敬老の町横芝光」「町財政の健全化」の五本の柱の公約実現に向けて各課で抱えている問題点の把握と各種事業の将来計画や財政負担等を中心にヒアリングを行っており、これらを踏まえながら、一歩づつ着実な町政運営を行ってま

Q 東陽病院の運営検討委員会のあり方について
A これから、運営検討委員会には、住民の代表にも加わっていただき、ご意見をいただくと同時に住民に對しての情報発信の役割も担っていただければと考えています。



東陽病院



業務委託は

偽装請負になりかねない

しばらく見守りたい



越川 洋一 議員

Q 町は行政改革大綱、集中改革プランを平成20年に立案しました。民間機能を

活用した効率的行政運営を確立するとしております。公共施設は住民の税金で建てた住民の暮らしを支える協同財産であり、そこで働く職員は賃金や労働条件が保証され、権利が守られ、住民の声を尊重し、住民サービスが安定的、継続的に確保されなければなりません。これらの業務に民間会社の利益を確保することは不必要であり、行政本来の住民サービスを投げ捨てることになりません。自治体

の公共施設の運営を特定の

営利企業に受け渡すことは公共施設のありかたになじみません。ましてや町政が主導的に臨時職員を派遣社員にするなど不当な雇用に手を貸してはなりません。齊藤新町長は業務委託を再考すべきでないか尋ねるものであります。

A 違法派遣ではないかとのご質問ですが、業務委託を明確に区分しており、受託者側の指揮命令系統により業務も管理しております。私も就任直後から業務の把握に努めているところであり現時点で発言することとは必要な不安を招きかねないのでしばらくの間見守っていきたいと思います。

Q 業務遂行に当たって委託先の職員の指示で業務をすれば偽装請負となります。保育所の保育士、病院、図

書館のカウンター整理、給

食センター調理員、放課後児童クラブ等、上司の指示がなく業務はこなせない問題となり各地で契約が見直されております。たとえば放課後児童クラブで子供がけがをしてもすぐ親に連絡できないで会社経由で教育課へ連絡する。熱を出すなどいつ何が起るかわからないのに家庭の連絡先も知らされない。これが派遣による教育現場の実態です。

A 児童クラブについては、預かっているお子さん達にも大きな事故等あった場合の責任の所在がどこにあるかとの問題があり、臨時職員にかかる場合も無きにしもあらずです。一括請負契約については、委託契約ごとにソフト面だけでなくハード面も含め今後も調査検討を続けて参ります。

書館のカウンター整理、給食センター調理員、放課後児童クラブ等、上司の指示がなく業務はこなせない問題となり各地で契約が見直されております。たとえば放課後児童クラブで子供がけがをしてもすぐ親に連絡できないで会社経由で教育課へ連絡する。熱を出すなどいつ何が起るかわからないのに家庭の連絡先も知らされない。これが派遣による教育現場の実態です。

入札制度について

現制度を検証しながら見直しを検討していく！



森川 忠 議員

Q 公約・政策について

A 公約には財源を伴うものがあり、一方財政健全化も掲げている。現状把握を正確にし現行施策との整合性も勘案し検討する。

Q 財政健全化の具体的な方策は

A 新町建設計画に基づき合併特例債を活用しながら各種大型事業を実施している。合併特例債は利用期限

に制限があるため町債残高が増えることは止むを得ないが22年度一般会計歳入における構成比が19・9%を占めている状況から早期に借入金の縮減予算の編成を考えている。

Q 議会に対する考え方は？

A 夜間・休日議会開会の際の執行部の協力については仕事などで傍聴のできない方のための方策の一つとして協力は惜しまない。補欠選挙にならず議員定数減になったことについては自

動失職ではなく議員としての任務を全うしたと考える。**Q** 地域振興について

A 特産品のPRとしての担当課・班の設置については横芝光町ブランド商品の開発に合わせ検討していく。商工業対策では商工会と協力して「プレミアム商品券事業」実施を前向きに検討する。

Q 入札について

A 21年度の町内・町外の業者の受注比率については全体で58・7%、工事関係では件数割合で85・2%金額割合で53・0%で、入札

制度の見直しは現制度を検

証しながら電子入札など検討する。また、試行としての予定価格と最低制限価格の事前公表は透明性を高める効果はあるものの落札価格の高止まりや最低制限価格同士の抽選になる事例があり、よくなるよう見直ししていく。

Q 特別職（町長・副町長・教育長）の報酬と退職金について

A 前佐藤町長は報酬・退職金を5%減額し、副町長を置かなかつたが、私は財政健全化を公約に掲げ町民参加の「事業仕分け」や「協働化の推進」を図りながら恒久・抜本的な財政健全化を図っていく。必要であれば特別職の報酬削減も検討する。

Q 旧横芝第二保育所（東町）について

A 児童館としての利用は届け出をすれば可能である。建築から30年が経過し再利用するためには設備の改修経費やランニングコスト、母子指導員などの人件費もかかるため今後の需要動向や児童数の推移を総合的に検討していく。

旧横中跡地利用・防犯メール・青少年スポーツ団体に対する支援は？



杉森幹男議員

- ・旧横中跡地は一部避難所の方向で
- ・防犯メールに関して、保護者の皆さんと意見を聞くために話し合いをします
- ・青少年支援はお金ではなく地域で支援を

Q 旧横芝中学校の跡地を地元住民との対話の中、早急に避難地でもある公園にすべきであり、住民に説明してほしい。

A 避難地としての利用も含め検討している。住民説明もします。

Q 防犯メールが2、3日遅れる状況であり、連絡の遅れが顕著です。また、近隣市町村では学習システムの付属品でなく、個人情報報告をしっかりと守れるようなシステムを導入しています。500人の学校では個人負担が月額20円くらいですむそうです。この値段が高いのでしょうか？私の教育の現場での安心・安全という面での考えでは高額とは思えません、導入すべきと考えます。また、町が負担してもいい問題ではないのでしょうか？

A 近隣の状況を調査し、また、配信の遅れについてPTA（保護者）と話し合いし、意見を聞きます。

Q 当町には目的を持った「町文化スポーツ振興基金」、約2億329万円があり、施設修繕などは計画的に一般会計で補えるので、例えば、各団体に50万円程度の支援金を4年に一度出したとしても約20年間続けられます。決して無謀で、無理な考えではないのでしょうか？

A 町長の子供たちに対する気持ちと、考えを伺います。

A 子供たちにお金でいいのでしょうか？地域で育てていきたい。



町内のスポーツ少年団で練習する子どもたち

中3までの医療費完全無料化について

平成23年4月からの実施を検討



川島富士子議員

Q 中3までの医療費完全無料化について

A 現在、準備を進めているところであり、当町の小学6年生までの児童医療費助成制度は、償還払いによる無料化で実施していますので、同様に実施したいと考えています。時期については、住民の皆様への周知を図るとともに、規則改正や財源確保を行い、平成23年4月からの実施を検討しています。

Q 家庭教育に関する学習機会の提供について

A 就学時健康診断の折、保護者を対象に実施すれば、全員の保護者に家庭教育の重要性を伝える良い機会であると考え、前向きに検討して参りたいと思います。

Q ヒブワクチンの公費助成について

A 将来を担う子供たちの健康を守るということは非常に重要であると認識しており、最近では、ヒブワクチンの効果が高く、副反応による健康被害も稀であることが評価されていることから、検討していきたいと考えております。

Q 子宮頸がん予防ワクチンの公費助成について

A 子宮頸がんは、発がん性のヒトパピローマ・ウイルスの感染が原因とされており、予防ワクチンの接種は、10代前半の女子が最も有効とされており、接種回数は半年間に3回接種で、金額は、およそ4万円から6万円です。当町におきましては、子宮がん検診の重要性についての啓発や受診促進を図っていくと

あると考え、前向きに検討して参りたいと思います。

Q 仮称「婚活応援課」創設への取り組みについて

A 今後、広域や県の事業として取り上げて頂くことも含めて検討して参ります。

Q 光ファイバー町内全域への拡充について

A 光ファイバー整備実現のための要望活動を続けて参りたいと考えています。

※その他の質問

- ・町長の政治姿勢について
- ・学童保育の拡充について
- ・学校耐震化事業の進捗及び取り組みについて
- ・国民読書年に伴う、夏休みの取り組みについて
- ・東陽病院における産科、小児科の開設について
- ・危機管理の取り組みについて

